「安心」を支える消防をめざして

たんごの風

消防広報

特集・・・丹後消防17年の歩み

火災・救急・救助は

119

（携帯電話も同じです）

丹後消防年表

～発足から十七年の歩み～

京丹後市消防本部へ

昭和６２年に誕生した丹後広域消防組合も、「京丹後市」の誕生と共に、旧６町の組合消防から市の組織へ仲間入りし、京丹後市消防本部として再出発しました。

１７年間を振り返ってみると、色々な災害・事件が起きているものです。

災害が起こるたびにわかったつもりでいる知識・教訓を、私たち消防、またはみなさんがどれだけ役立てる事ができているでしょうか。丹後、日本、そして世界の出来事を一覧しながら、あらためて考えてみましょう。

	国内の災害	丹後消防の動き	社会の動き
S62	国際消防救助隊の要綱制定 特養「松寿園」火災（東村山市）		
S63			
H元			
H２	長崎屋尼崎店火災（死者15名） 救急救命士法制定		
H３	信楽高原鉄道、列車正面衝突事故 雲仙岳噴火災害		
H４	富士石油㈱精油プラント爆発事故		
H５	各都道府県に消防防災ヘリの配備 釧路沖地震 北海道南西沖地震	「丹後広域消防組合消防本部」設置 宮津与謝消防組合と消防相互応援協定の締結 スキューバ隊の編成 丹後広域消防連絡協議会発足 北但広域消防事務組合と消防団との連携強化 消防相互応援協定の締結 竹野川分遣所業務開始	厚生省　日本人で初のエイズ患者認定 国鉄の民営化で東日本旅客鉄道など開業 青函トンネル開通 天皇崩御、皇太子明仁親王即位 消費税の実施 ベルリンの壁崩壊 米ソ東西冷戦終結宣言 イラク軍、クウェート領内侵攻
H６	松本サリン事件 三陸はるか沖地震		ソ連邦の消滅、11の独立共和国の設立 日本人宇宙飛行士　毛利衛「エンデバー」で宇宙へ ＥＣ統合 Ｊリーグ開幕
H７	兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災） 地下鉄サリン事件	兵庫県南部地震に伴う救助隊派遣 延べ60名１月17日から25日 高規格救急車の配備（本署）	
H８	Ｏ-157集団食中毒各地で発生 豊浜トンネル崩落事故（北海道古平町） 蒲原沢土石流災害（長野、新潟県境）	救急救命士養成派遣（京都市） 台風19号により府北部被害大	ＰＬ法制定 関西空港開港 災害対策基本法の改正 大規模地震対策特別措置法の改正 緊急消防援助隊の創設
H９	ナホトカ号海難・流出油災害 6240ｋｌ流出、８府県に漂着 動燃東海事業所火災・爆発事故	ナホトカ号重油流出事故に伴う警戒本部の設置 組合組織の機構改革の実施 全国消防救助技術指導会出場 携帯電話からの１１９通報運用開始 福祉ファックスの設置	ベルー日本大使館にゲリラ襲撃 香港返還
H10	カレーライス毒物混入事故（和歌山県）		
H11	全国各地で豪雨災害（広島、熊本県等） 東海村ウラン加工施設で臨界事故	高規格救急車を網野分署に配備 救助ゴムボート寄贈、配備 広報紙「たんごの風」第一号発行 竹野川、重油流出事故	宇和島水産高実習船、米原潜と衝突 池田小児童殺傷事件 狂牛病感染の乳牛確認 米国、同時多発テロ発生
H12	有珠山噴火 三宅島噴火 鳥取県西部地震 雪印乳業食中毒事件		ワールドカップサッカー開催 バリ島爆弾テロ ノーベル化学賞　島津製作所の田中耕一氏
H13	芸予地震 明石夏祭り花火大会事故 新宿歌舞伎町ビル火災		
H14	防火対象物点検報告制度の導入 長崎市、ダイヤモンドプリンセス船舶火災	消防緊急通信指令施設完成、運用開始 全国消防救助技術指導会出場	韓国地下鉄火災発生 米軍等、イラク攻撃 ＳＡＲＳ発生
H15	宮城県沖地震 ㈱ブリジストン栃木工場火災 十勝沖地震 出光興産㈱北海道製油所貯蔵タンク火災	救助工作車の配備（本署） 丹後メディカルコントロール協議会発足 高規格救急車を久美浜分署に配備	

過去から未来を・・・そこから何かを・・・

17年の統計から

消防年表のデータから日本や、世界で起きた数々の災害はあらゆる形で発生し、想像を超えたものであったことがわかります。災害の発生を防ぐのは当然ですが、被害を少なくすることが大切です。

火災

昭和62年に発足してからの火災件数は**337**件、死者21人、負傷者83人、損害額**189**億円にもなります。（平成15年現在）これは、年間約20件の火災が発生したことになり、平成11年が最も少なく12件、平成14年が一番多く26件でした。内訳は、建物243件、林野40件、車両24件、その他30件です。

出火原因は、コンロに掛けた天ぷら鍋の消し忘れ、たき火の不始末が最も多く、**ほとんどが不注意・不始末から火災は発生**しています。

ウッカリをなくさない限り火災はなくならないのです。

救助

火災や交通事故、または自然災害などの現場から、いかに短い時間で助けだせるかという救助活動は、消防業務の中でも**高度な知識や技術**を要するものです。

消防でもこの17年間で、災害の複雑多様化に伴い、救助器具の充実を図ってきました。また、平成15年には、さらに高度な救助活動ができるように、峰山消防署に救助工作車が配備されました。

水難事故に対しても昭和63年からスキューバ隊を設立、水難救助、捜索現場において住民からの厚い信頼のもと、活動を行ってきています。

天災

世界各地からの大災害のニュースを耳にするたび、「天災」に対する人間のもろさを痛感します。幸い丹後ではここ数年大きな災害は起こっていません。過去には**丹後震災、サンパチ豪雪、台風等**で大災害にあった歴史があります。

災害はいつどこで発生するか分かりません。過去の悲惨な経験を決して風化させることなく、被災者が残した教訓を生かし、家庭・地域が**「助け合い」**、災害に強いまち「京丹後市」を築いていきましょう。

救急

救急の出動件数は、発足以来２万４７９５件にのぼります。１年あたりの件数は、昭和63年の１１６２件から年々増え続け、過去５年の平均は１８４０件です。**その半数は急病によるもので**、次に交通事故と続きます。搬送した患者さんの多くは65歳以上の高齢者で、年々増えてきております。

消防ではより高度な救急サービスを提供するため、つねに隊員の技術向上とともに、平成３年から創設された、救急救命士制度に基づき、救急救命士の養成を行ってきました。そして、平成７年から救急救命士として現場の業務に就き、現在では十人の救急救命士が活躍しています。救急車や機材も更新を進め、救急車については高規格救急車３台を含め５台が活動しています。

また、救命率を少しでも高くするため、現場での**パイスタンダーの育成**・通報時の**口頭指導**・現場に消防車なども駆けつける**支援出動**など、「救命の連鎖」をつなげるために住民の皆さんの立場になり活動していきたいと思います

救急一口メモ

救急救命士

皆さんこんにちは。峰山消防署救急救命士の和田です。今回は、救急一口メモを担当しました救急救命士について紹介します。

峰山消防署には10人の救急救命士がいます。本署４人、網野、久美浜分署、竹野川分遣所に各２人が救急出動、救急講習等でがんばっています。４月には11人目が誕生の予定です。年令は33～52歳、グレーの救急服を着て左胸には名札をつけています。お気軽に声をかけてください。

救急救命士
和田　英樹

さて峰山消防署には５台の救急車があります。救急車とは**急**いで**救**う　助ける）ことが必要な人を搬送する**車**であると思います。救急車で行くとすぐ診てもらえるから」というお話を聞くことがありますが、ぜひとも救急車の適切な利用にご協力をお願いします。でも、いざというときは遠慮せずに呼んでください。

フォトキャッチ

文化財を守るため

2月1日、文化財防火運動に伴い、久美浜町字神谷、宝林寺において、関係者と消防団・消防署と合同で、消防訓練が行われ連携を深めました。

火の用心の意気込みは万全

2月29日、丹後町間人地区を、民生委員の岡貞三郎さん、いちがお園生活相談委員の松本真由美さんと協力し、高齢者世帯へ防火訪問しました。

皆さんから、たじたじになるほどの質問もあり、防火への関心はすばらしいものでした。これからも、この意気込みで「火の用心」に心がけ、書道にパソコンにと頑張ってください。

中江喜久恵さんは、「火の用心する事」と書いた紙を、居間のよく見える場所に貼って、いつも火の用心を心がけておられます。私たちも見習わなければなりませんね。

華が咲く　1日女性消防官

3月2日、網野分署で女性消防官に任命された3人は、防火教室、防火査察にと火災予防運動の推進に華を咲かせました。

自分探し

1、2月の雪の降る中、各地から小学3年生のみんなが来署し、消防署の仕事を勉強しました。
「ニコニコ」と楽しそうな子、「キャー煙だ、前が見えない」と煙中体験で怖がる子といろんな顔を見せてくれました。
みんなは、助け合うことの大切や、助けることの大変さを勉強してくれたかな。自分を探して、感想をきかせてね。

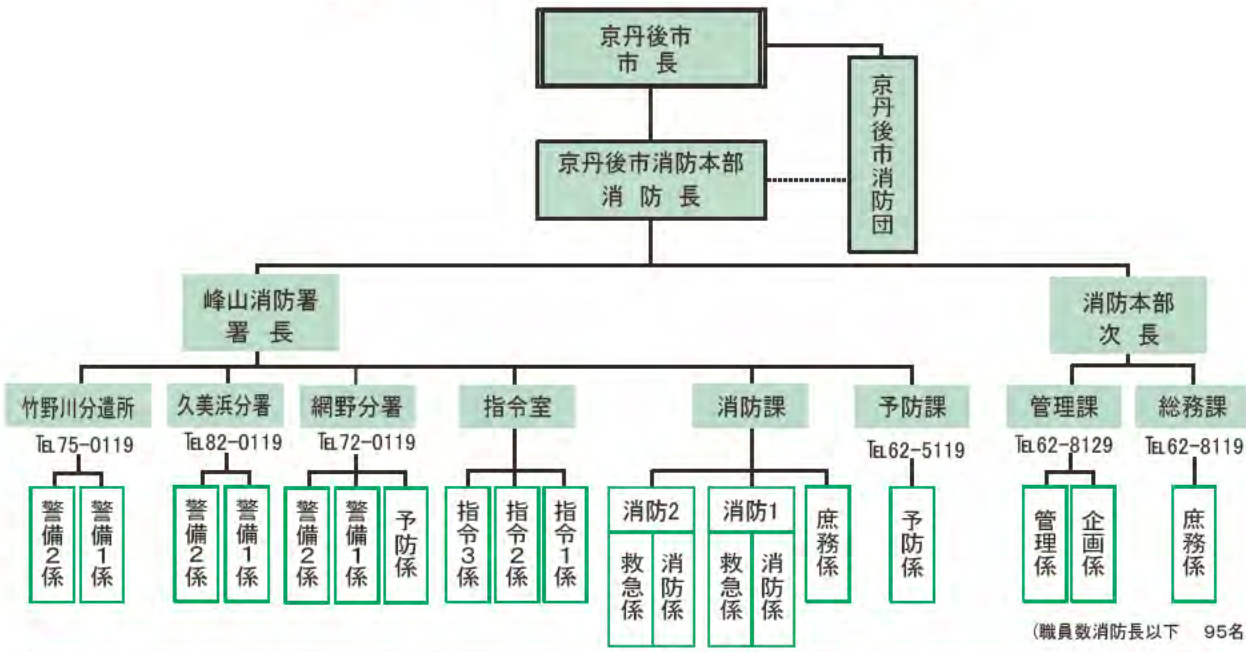
かじだ　けむりにきをつけろ

3月4日
吉野保育所のみんなが「火事のポーズ」をしてくれました。

じしんだ　あたまをまもれ

3月4日
和田野・野間保育所のみんなが「地震のポーズ」をしてくれました。

消防の広場



（職員数消防長以下　95名）

消防長
山本　邦昭

月日付、消防長拝命。重責就任。責任痛感。

新生「京丹後市」誕生。消防業務対応、多様化・住民的確把握、市民皆幸生活守高、消防救急体制充実努存、願。

119番通報

119番総受信数
3,059件

いたずら	88件
間違い	239件
問い合わせ	535件

あなたを守る119番
正しく使いましょう

消防

救急件数
1,903件
（前年比＋142）

急病件	1079
交通件	315

救助件数
35件
（前年比－9）

交通事故	26件
機械事故	1件
水難事故	4件
その他	4件

火災件数
14件
（前年比－8）

峰山町	3件
大宮町	0件
網野町	8件
弥栄町	1件
丹後町	1件
久美浜町	1件

普通救命講習会

月16日（日）
9時～12時

時間　救命講習会。参加方、修了証渡。

場所　峰山消防署講堂

申込　平成16年4月30日（金）～平成16年5月13日（木）

予定人数　先着30名　参加無料

問合先　峰山消防署救急係　Tel 62－0119

編集後記

平成11年発刊以来、今回第20号つ広報紙「風」―閉。

住民身近消防心、編集取組、京都広報賞特別賞、全国消防広報―入選思栄誉浴、毎回励愛読住民皆様改感謝申上。長間、。

お知らせ

消防署へのお問い合わせは office@119tango-kyoto.or.jp　でも受付けております。
このメールアドレスは火事や救急などの１１９通報には利用できません。